

東日本大震災復興支援

生活支援相談員ニュースレター～vol. 15～

平成28年12月発行

【発行】

岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 コミュニティ振興グループ
岩手県盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内 TEL:019-601-7032 FAX:019-637-7592

柄ヶ沢災害公営住宅（陸前高田市）の自治会設立に向けた取組

陸前高田市では、平成28年度末までに、11か所、895世帯の災害公営住宅が完成します。その中で、平成28年7月に入居開始となった柄ヶ沢災害公営住宅は、1号棟3ブロック、2号棟3ブロックに分かれた計301戸の県内で最大の災害公営住宅です。

県大船渡地域振興センターは、同住宅で岩手大学三陸復興・地方創生推進機構、一般財団法人岩手県建築住宅センター、市の関係各課、陸前高田市社会福祉協議会、陸前高田まちづくり協働センター、市復興支援連絡会等と連携し、自治会設立準備委員会を開催しています。

準備委員会では、ブロックごとの話し合いの後、全体会で課題を共有し、十分な時間をかけた合意形成を図っています。



第5回自治会設立準備委員会を開催

平成28年12月19日（月）、柄ヶ沢災害公営住宅の集会所で、第5回準備委員会が開催されました。今回の準備委員会は、準備委員のほか、各ブロックから選ばれた役員候補者も含めて40名が参加しました。

役員候補者は、6ブロックから4名ずつ計24名が選ばれることとなっています。第4回準備委員会の開催後、準備委員が中心となりブロックごとに役員選出のための顔合わせ集会を開催し、役員候補者を選びました。

今回の準備委員会は、岩手大学三陸復興・地域創生推進機構が全体進行をし、前回の準備委員会の振り返り、協議、各ブロックから役員選出のための顔合わせ集会の状況や役員選出の進捗状況の報告が行われました。ブロックごとのグループ進行は、陸前高田市社協の生活支援相談員、陸前高田まちづくり協働センターの支援員、復興支援連絡員が担いました。



6ブロック中、2ブロックは役員候補者が未選出でした。「ブロックごとの顔合わせ集会を開催したが参加者が少なかった」、「高齢者が多い」等の理由で役員候補者を選

ぶことができなかつたブロックでは、次回の役員選出のための顔合わせ集会には住民の参加が増えるよう、周知期間を十分にとることにしています。

同住宅は、1号棟3ブロックは8階建て、2号棟3ブロックは9階建てで、2~3階ごとを一つの班とし、全24班で編成されています。ブロックによっては、名簿を作成し共有しているところや、班ごとに集まりを開いたところもあり、他のブロックから「自分たちのところでもやってみよう」という意識付けにもなっています。

これまでの議事録の要約版は、全戸に配付し、準備委員会で話し合ってきた経過を入居者皆が把握できるように配慮しています。

第6回準備委員会は、1月中旬に開催し、役員候補者の役職や規約等を協議する予定です。



自治会設立に向けた支援の変遷

- 平成28年3月 陸前高田市社協の生活支援相談員と県大船渡地域振興センターが支援を検討
- 4月~9月「県営柄ヶ沢アパートミーティング」を開催（10回）
 - ・ 目的：柄ヶ沢団地入居者の行政区設置からコミュニティ形成、見守り・生活支援活動等について連携して支援を行うこと
 - ・ メンバー：県大船渡地域振興センター（事務局）、県大船渡土木センター、県土整備部建築住宅課、一般財団法人岩手県建築住宅センター、陸前高田市（総務課、保健課、地域福祉課、被災者支援室、建設課、まちづくり戦略室）、陸前高田市社協、陸前高田まちづくり協働センター、陸前高田市復興支援連絡会、岩手大学三陸復興・地域創生推進機構
- 9月下旬~10月上旬 6ブロックで「顔合わせと共益費等説明会」を開催（6回）
 - ・ 入居者間の顔合わせと共益費や自治会等の必要性等に関する説明。
 - ・ 各ブロックで約9割の入居者が参加し、問題点や課題を話し合った。
 - ・ 自治会設立準備委員を選出。（38世帯39名）
- 10月下旬~12月 「県営柄ヶ沢アパート準備委員会」を開催（5回）
 - ・ 第1回 ブロックごとの「顔合わせ会」で明らかとなった問題点・課題の整理、自治会設立の可否について
 - ・ 第2回 班割り、共益費等の集金額と集金方法について
 - ・ 第3回 自治会組織（行政区）、役職の検討
 - ・ 第4回 役職の整理と役割、役員（管理人）候補者選出について
 - ・ 第4回終了後、準備委員が中心となり、ブロックごとに役員選出のための顔合わせ集会を開催し、各4名の役員候補者を選出
 - ・ 第5回 役員数の検討、ブロックごとの役員選出の進捗確認（役員候補者紹介）